

平成26年12月26日
運輸安全委員会

漁船第一源福丸沈没事故（平成26年12月24日発生）の調査状況等について

1. 事故の概要

島根県浜田市沖で、操業中の漁船第一源福丸が沈没した。

(1) 発生日時

平成26年12月24日（水） 午前4時42分頃（118番通報の受理時点）

(2) 場所

島根県浜田市沖約48キロメートルの日本海

(3) 船舶等

- ① 船舶種類：まき網漁船
- ② 船名：第一源福丸
- ③ 総トン数：135トン
- ④ 乗組員：20人（うち3人はインドネシア人）
- ⑤ 死傷者：死者2名、行方不明者3名（25日時点）

2. 現在までの調査状況

(1) 現地への調査官の派遣

事故発生当日の12月24日に調査官3人を浜田市に派遣し調査を開始。

現在、現地で入手した情報を整理すると共に引き続き調査を実施中。

(2) 調査状況

① 口述聴取の実施

12月24日と25日の両日で、船長をはじめ乗組員15人から口述聴取を実施。

- ・ 24日：船長をはじめ日本人乗組員4人
- ・ 25日：日本人乗組員8人とインドネシア人乗組員3人

② 主な聴取内容

事故発生時の本船及び僚船の状況、気象・海象状況に加え、事故発生前の本船や僚船の航行・操業状況、事故発生後の脱出・捜索・救助の状況等。

3. 今後の対応

今後、僚船の乗組員に対する口述聴取、船舶所有者「東洋漁業（株）」による安全・運航管理の調査等を実施予定。

また、本船の設計・建造状況の調査を実施予定。

並行して収集した資料を整理、分析する予定。